



SCHOOL OF HAWAI'I
EXPERIENTIAL LEARNING





SCHOOL OF HAWAI'I

EXPERIENTIAL LEARNING



3 プログラム概要

- ハワイの学校とは（イラスト解説）
- 受講者
- 学びの手法
- カリキュラムのフレームワーク
- 実習地
- 採用団体

4 なぜハワイで学ぶのか？

- 豊かな学びの資源
- 日本とハワイの繋がり
- 「自分ごと」をする機会
- 責任ある主体者としての行動を導く

5 渡航前研修

- 渡航前研修（事前学習）の目的
- カスタムメイドの事前学習
- 対面セッションサンプルスケジュール

7 ハワイにおけるプログラム

- ハワイにおけるプログラムの目的
- 代表アクティビティと訪問先

12 日本におけるプログラム展開

- 参加者・参加校募集中

13 学習効果

- 日本からの受講者への学習効果
- ハワイからの受講者への学習効果

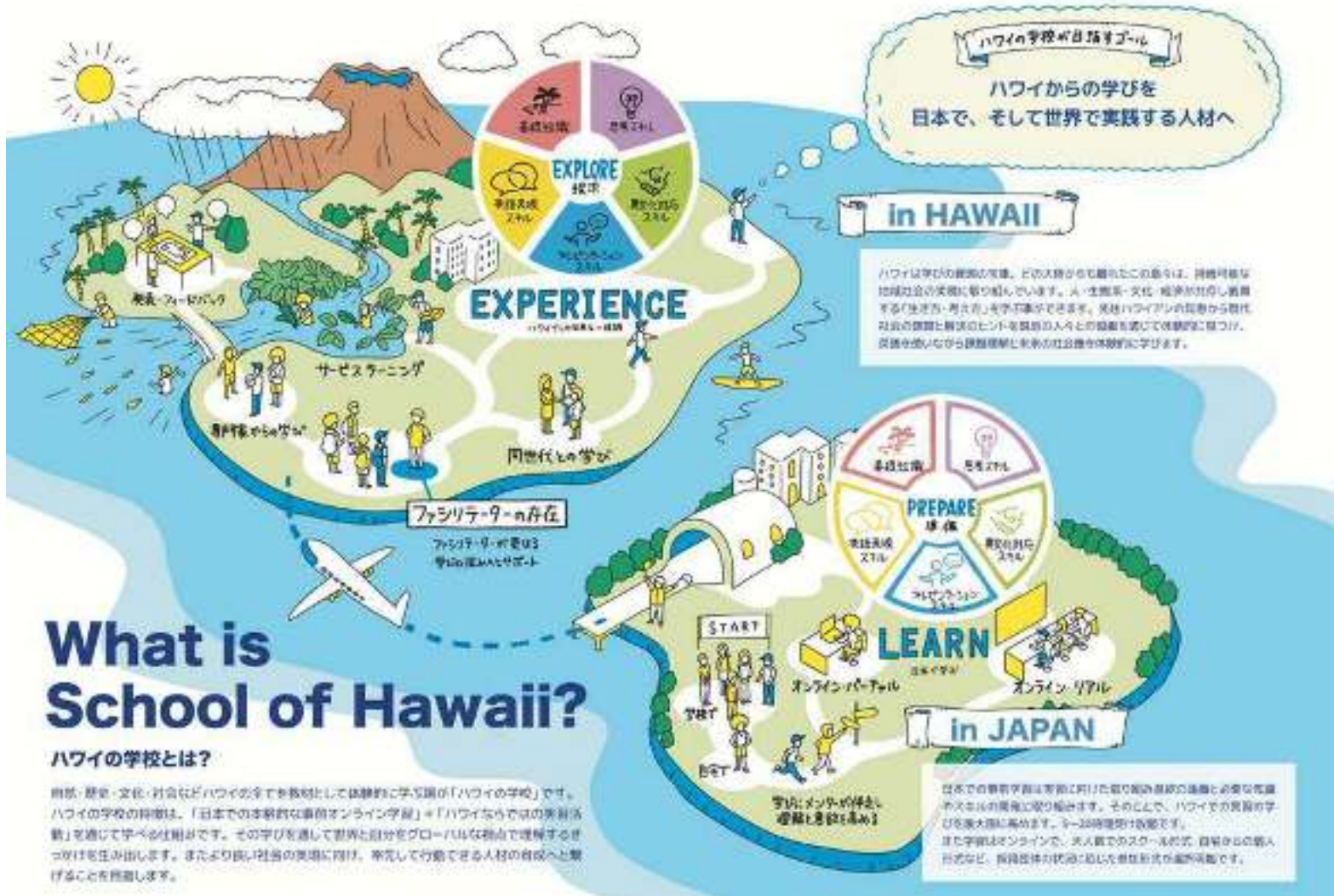
14 参加者の声

- 「ハワイの学校」に参加してみて



株式会社LbE Japan
(エルビージャパン)
〒810-0074
福岡県福岡市中央区大手
門1-8-8
ベイサージュ大手門 502
+81 92-791-6581

LbE Hawaii LLC
307A Kamani Street
Honolulu, Hawai'i 96813
info@lbe-hawaii.com
808-209-5423



プログラム概要

実習
(サービスラーニング)

オンライン学習



ハワイの学校の目的

社会課題を解決する主体者としての「当事者意識」を育む

受講者

日本及びハワイの中学生～大学生

学びの手法

サービスラーニングの手法を通じて体験的、探究的に学ぶ手法を導入
※サービスラーニングとは、学習者の既得知識とスキルをボランティア活動を通じて実社会の活動に応用し、市民としての責任と社会的スキルを身につける手法

カリキュラムのフレームワーク

- ・ 'Āina-based Education
※ハワイ語 "Āina" (土地) からの学びという考え方。自然環境との関係を深め、地域社会との繋がりを養い、実社会の問題に応用できるスキルと態度を身につける
- ・ 21世紀アプアア
※世界で最もサステナブルな地域マネジメントの手法と言われるアプアア。その叡智を21世紀の社会課題解決に活かす

実習地

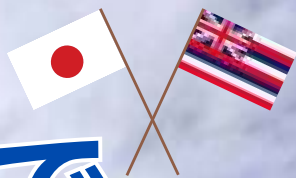
オアフ島、ハワイ島、カウアイ島（催行日は2日以上）

採用団体

- ・ 学校（私立、公立校など）
- ・ 自治体（ハワイ州との姉妹提携を結んでいる自治体など）
- ・ 旅行会社

なぜ ハワイで 学ぶのか

- ハワイから学び、地域や世界の主体者へ -



豊かな学びの資源

ハワイには、独自の自然、歴史、文化など豊かな学びの資源があります。太平洋に浮かぶ島々からなるハワイはどの大陸からも離れており、持続可能な社会作りの実現が最重要課題とされています。ハワイは州独自の持続可能な開発目標（SDGs）といわれるアロハ・プラスチャレンジを設定し、持続可能な地域社会の実現を目指す国連のSDGsのモデル地域にも指定されています。ハワイは地球規模課題とその解決に向けた取り組み両方を知ることが出来る魅力的な場所でもあります。

日本とハワイの繋がり

歴史的にもハワイほど日本との関係が深い場所はありません。この日本とハワイの親和性は、参加者が日本以外の視点を受けて、日本と日本人の価値、自分の価値観や自分の文化を再認識するのに役立ちます。

「自分ごと」化をする機会

今や地球全体の課題である「持続可能な開発」本プログラムでは「持続可能な社会の創り手の育成」をテーマに、ハワイの実践を参考事例として学びます。実習では、社会課題やその解決に取り組んでいる専門家などのロールモデルと出逢います。また、ハワイ現地の大学生やハワイの同世代との協働学習により、国や場所が違っても同じ地球規模課題を持つ人々と感情を共有する時間を過ごすことは、地球規模課題に対しての「自分ごと」化が出来る貴重な機会となります。

責任ある主体者としての行動を導く

当プログラムでは少人数グループでのディスカッションを通じハワイと日本の比較文化学習を実現します。日本とハワイの共通点と違いを探すことは参加者が自分自身とその文化の価値を再認識することにつながります。自分と異なる文化に触れ、自身の持つ物差しを広げる経験は自分が住む地域を超えて世界的な視野を持ち世界を舞台に貢献する責任ある主体者に必要な資質と考えられています。



SCHOOL OF HAWAI'I
EXPERIENTIAL LEARNING

どのように 深い学びを 実現するか

Step 1: 渡航前研修（事前学習）

Step 2: ハワイにおけるプログラム

渡航前研修（事前学習）

深い学びを実現するために私達が大切にしているのは事前学習です。事前学習を経ることによって参加者はハワイのみならず、テーマに関連した事前知識を得ることができます。

また、事前学習は参加者同士が互いを知り、実際の研修で効果的な協働学習を行う素地を作る重要な機会です。事前学習でハワイの人々と知り合い、その想いに触れることは、地理的に遠いハワイで起きている現象をより「自分ごと」として感じる経験にもなります。

「英語の聞き取りが難しくて、焦りと同時に、実際の本番の研修までに英語学習の意欲が湧いた」という効果もあります。

事前学習は5 - 20 時間の間で行われ、自主学習と実地もしくはオンラインでの対面セッションが開催されます。



自主学習



伴走型メンター



協働アクティビティ



オンライン／実地対面セッション

カスタムメイドの事前学習

「ハワイの学校」がプログラム（ハワイでの実習）内容にもとづき事前学習メニューを作成し、参加者はメンター（伴走者）のサポートのもと、主にオンラインで自学自習と対面セッションに参加します。この事により、採用団体の負担軽減を実現しながら、参加者自身の意欲・知識・スキルの三要素とともに学習意欲を高めることができます。

対面セッションサンプルスケジュール

SESSION 1	<ul style="list-style-type: none">プログラム・オリエンテーションプログラム概要ハワイバーチャルツアー自学自習用宿題の紹介（準備ビデオを見て、ハワイのさまざまな場所で何をすべきかを理解する）
SESSION 2	<ul style="list-style-type: none">宿題に対するフィードバックハワイの人々が古来から大切にしている価値観 Kalo について学ぶハワイ語の "Malama" とは何か宿題の紹介
SESSION 3	<ul style="list-style-type: none">プログラムの最終準備の案内ハワイへの心構え・荷物と持ち物の案内現地運営スタッフの紹介

ハワイにおけるプログラム

弊社コンセプトは「体験からの学び - Learn by Experience」...この実習では、参加者（日本からの受講者と地元ハワイの受講者）が共にハワイの古き伝統やハワイの地球課題への取り組みを体験を通じて学び、その学びを日本の日常や世界の課題解決に応用することが出来るかを探究することを主眼にしています。

代表アクティビティと訪問先



ハワイ大学にてハワイ側の生徒、ハワイの学校スタッフ、大学生リーダーらと合流



ハワイ大学における大学生主導のキャンパスツアー。ランチは各自大学の学食を利用しました。現金での支払い時、特にアメリカのコインに混乱する参加者も。ホストファミリーとの初めてのご対面。初日は緊張が隠せません



代表アクティビティと訪問先



ハワイ・フードバンクにおけるサービスラーニング



参加者たちはハワイの食料問題の解決に取り組むNPOであるハワイ・フードバンクの作業所を訪問しました。NPO職員よりハワイ・フードバンクの使命について学んだ後、食品を選別し、消費されるか、養豚場や堆肥の餌になるかを判断する作業に取り掛かりました

代表アクティビティと訪問先



チームビルディングを目的としたホノルル市内を舞台とした班別研修であるHoloholo Adventure。ICTを活用してハワイの歴史、文化、多様性を学びながら、さまざまな場所を探索し、ミッションを解決します。ミッションの解決にはチームワークが不可欠です！



アプリに表示される行き先に行くと各ゾーンに隠されたミッションが課される
ミステリーツアー。アプリを利用する
ミッションもあれば、情報を集めるクリップボード、封をされた封筒、鍵のかかったバッグなど、物理的なアイテムを使うミッションも！

すべての課題を最初にクリアしたグループが優勝チームとなります！

代表アクティビティと訪問先



ハワイ州には例えば経済的な事情により困窮した生活を余儀なくされているような、恵まれない若者が多く存在します。ライフ360ネットワークは、ホノルルでより深刻化が進む格差問題に焦点を当てて活動をするNPOです。弊社はこのNPOのパートナーとして、日本の参加者とハワイの参加者間の協働や同世代交流を推進しています



同団体の創設者がどのような想いでこの団体を創設しようと決意したのかを語ってくださいました。多くの若者の命を救ってきた創設者のもとには、同じようにハワイの若者をよりよくしたいという熱意ある指導者達が集まり、そのような人々はライフ・コーチと呼ばれています



創設者から学び、同団体がいかにして人々の生活を360度変えてきたかを学びました。日本の受講者はライフ360ユースに日本語のレッスンを行いました



小グループに分かれ（日本人受講者、現地受講者、ライフ360コーチ、ライフ360ユース）、ハワイが面するゴミ問題に対する理解と、ゴミが海に入るのを防ぐためのサービスラーニングを行いました



代表アクティビティと訪問先



Paepae o He'eia

He'eia Fishpond, He'eia O'ahu

800 年前にできたこの養魚場は、自然との共生を図る古代ハワイアンの想いを受け継いでいます。パエパエ・オ・ヘエエアはかつて地域の生活を支えた養魚場の機能を取り戻すために修復活動に取り組んでいます



農園の主産物であるタロイモは、ハワイの文化において重要な意味を持ちます。古代から尊ばれるタロの生産に関わることによって、参加者達は、文化の根底を理解するだけでなく古来ハワイを豊かにした持続可能な水循環システムについての理解を深めました



パエパエ・オ・ヘエエアには多くのボランティアの支援が必要であり、ハワイのローカル企業であるハワイアン航空など多くの企業も支援活動を継続的に行っています。訪問者である日本からの受講者とハワイの現地の受講者は共に「ハワイの学校」の参加者として修復活動を行い、21 世紀のアププアア実現に直接貢献しました

SCHOOL OF JAPAN



ハワイから来日する参加者を対象として、日本での探究型プログラムのデザインや
コーディネートを提供します。日本側の現地受講生としての
参加者・参加校も募集しています（現在準備中）

学習効果

本プログラムの受講者は、まさに人生を変えるような経験をし、新しいスキルやマインドセットを獲得し、それらを研修終了後も日常生活に活かすことが期待されています



日本からの受講者

- 地元ハワイの人々との英語・ハワイ語に囲まれる学びの環境に身を置く
- 事前研修でメンターから学び、ハワイ訪問の心構えと知識の吸収を行う
- 研修終了後、自分ができることを考え、それぞれの地域社会でアクションを起こす

ハワイからの受講者

- 文化的・歴史的に重要な場所を通じた学び (Aina-based Learning)
- ハワイの人々、文化、古代の知恵からの学び
- チームビルディング
- ハワイと日本の比較文化学習
- プログラムを経て、働く大人と出会い、進学やキャリア構築への意識を高める
- 新しいスキルや知識を身につけ、世界のチェンジメーカーとなるための内なる可能性に気づく

- 日本からの受講者との言語交流・異文化交流という学びの環境に身を置く
- プログラム期間中および終了後も、地域社会で自分ができる行動を継続する
- プログラムで現地の専門家とつながる
- 日本との繋がりができる。将来的に日本を訪問し、日本から学ぶ機会を得る

「ハワイの学校」に参加してみて

日本からの参加者の皆さんはとても親切だった！言葉が通じなくても、プログラム中彼らと仲良くなれました。私は日本人の一人（日系5世）なので、このプログラムは日本語と日本文化についてもっと学びたいという意欲を高めてくれました。5時間教室に座っているのではなく、環境を大切にするための行動を起こしたり、さらに深く考えるためのセッションを毎日行ったりと、場所を通じた学び（‘āina-based-learning’）だったのも良かったです。

ハワイ側高校生 15歳

高校生のうちにハワイに来れたことが、私にとって大きな経験になった。ハワイで知ったことや、学んだことを日本でも、友人に話したりしていこうと思いました。英語でコミュニケーションを取ることの楽しさや、難しいことに挑戦する勇気も身につきました。

日本側高校生 16歳

色々なことから自分に自信がついたような気がする。さらに、自分が住む環境だけではなく日本を出てボランティアをすることは本当に素晴らしいことなんだと思った。楽しいことや笑顔になることはやはり世界共通なんだと実感した。このことから、英語に興味を持つことができてもっともっと英語を学びたいと思った。そして、今よりもたくさんの国の人とコミュニケーションがとれるようになろうと思った。

日本側高校生 17歳

ハワイの伝統を受け継ぐために仕事している人がいることが素敵だと思った。自分も日本に帰って文化や伝統を繋げられるようにしていこうと思った。

日本側高校生 16歳

現地NPO職員のMy Story

私は、良い大学に行って高収入の仕事に就くことが重要視される、ある意味恵まれた環境で育ちました。アメリカ本土の大学でビジネスを専攻したものの、興味を持てずじまいでした。そこで、専攻を環境学に変えたことで、社会が直面している問題をより「自分ごと」として意識するようになり、故郷のハワイで環境保全に携わることに意義を見出しました。KupuというNPOを通して、ここパエパエ・オ・ヘエエアで2年間のインターンシップを経験し、最終的にはフルタイムで働く機会を得ました。教育ディレクターとなった今は、多くの訪問者と共にこの養魚場を良くしていく教育プログラムを実施しています。この目で、パエパエ・オ・ヘエエアのマングローブが取り除かれ、養魚池が元の状態に戻るのを見たいと思っています。

ラシエル パエパエ・オ・ヘエエア